

平成28年度美術常設展(1)

# 新収蔵品展

2016年

4月5日(火) — 7月3日(日)

〈開館時間〉午前9時—午後5時／〈休館日〉月曜日／〈入場料〉無料

豊川市桜ヶ丘ミュージアム 1階美術常設展示室

新たに収蔵された

豊川市桜ヶ丘ミュージアムの新コレクションをお楽しみください。

有元利夫(からくり) 新寄託資料



TOYOKAWA CITY SAKURAGAOKA MUSEUM



高畑郁子《猿ボボに寄せて》

2016年

7月12日(火) — 10月9日(日)

〈開館時間〉午前9時—午後5時／〈休館日〉月曜日／〈入場料〉無料

豊川市桜ヶ丘ミュージアム 1階美術常設展示室

夏休「み」企画 平成28年度美術常設展(2)

# あおいろいろの表現

TOYOKAWA CITY SAKURAGAOKA MUSEUM

豊川市桜ヶ丘ミュージアム

〒442-0064 愛知県豊川市桜ヶ丘町79-2 TEL(0533)85-3775



平成28年度美術常設展〈1〉

# 新収蔵品展

2016年 4月5日(火) — 7月3日(日)

●出品作家 (50音順/敬称略)

有元利夫	岩原良仁
石黒鏘二	中村正義
伊與田正	野村耕

※出品作家は都合により予告無く変更する場合があります。



伊與田正《栗ちゃん》1987年

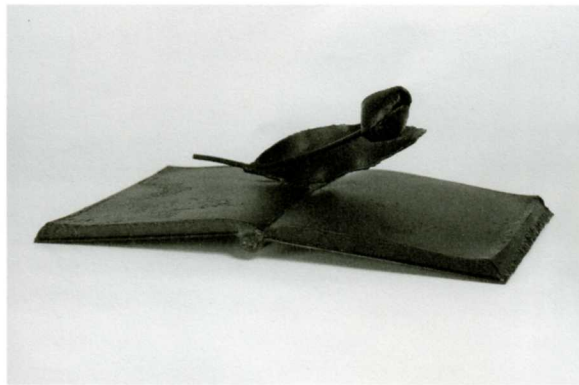
桜ヶ丘ミュージアムでは平成6年から、郷土にゆかりの作家や作品を中心に美術資料の収集活動を行っています。

本展は平成27年度に新たに収蔵、受託した43点の資料の中から、中村正義、岩原良仁、伊與田正といった郷土作家を中心に、名古屋造形大学で学長をつとめた彫刻家・石黒鏘二や、豊川市出身の星野眞吾と交流のあったパンリアル野村耕、また、新たな油彩画の境地を拓いた安井賞作家・有元利夫など、主だった作品を選出して紹介するものです。

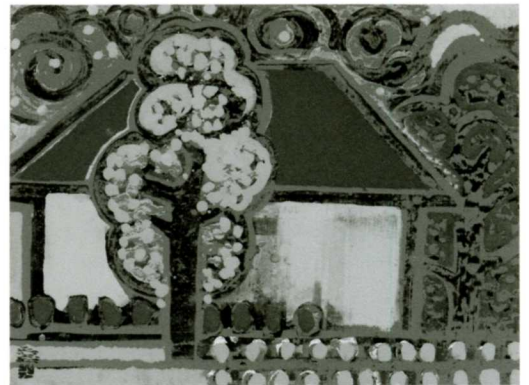
新たに収蔵された、豊川市桜ヶ丘ミュージアムの新コレクションをお楽しみください。



野村耕《作品一裂》1983年



石黒鏘二《チューリップ》1970年代前半



中村正義《風景》1963年

## TOYOKAWA CITY SAKURAGAOKA MUSEUM

夏 | 休 | み | 企 | 画  
平成28年度美術常設展〈2〉

# あおいろの表現

2016年 7月12日(火) — 10月9日(日)

●出品作家 (50音順/敬称略)

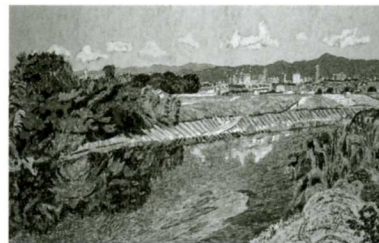
青山龍志	高木 勲	星野眞吾
岩原良仁	高畑郁子	松本英一郎
加藤鉦次	永井繁男	森岡完介
加藤茂外次	長谷川 侑	山本鉄男
佐藤泰治	平川敏夫	

※出品作家は都合により予告無く変更する場合があります。

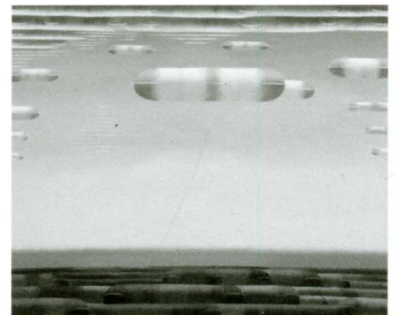
桜ヶ丘ミュージアムでは平成6年から、郷土にゆかりの作家や作品を中心に美術資料の収集活動を行っています。

本展は当館が収蔵する資料の中から、青色が印象的な作品を高畑郁子、星野眞吾といった郷土作家を中心に作品を選出して紹介するものです。“あおいろ”を効果的に用いて、時間、空間、感情などが現されています。洋画、日本画、版画と技法によっても“あおいろ”の見え方は様々です。また今回は、当館の所蔵している歴史資料より、浮世絵も公開します。

豊川市桜ヶ丘ミュージアムの“あおいろ”コレクションをお楽しみください。



永井繁男《豊川夏日》1999年



松本英一郎《退屈な風景さくら》1994年

## TOYOKAWA CITY SAKURAGAOKA MUSEUM 豊川市桜ヶ丘ミュージアム

〒442-0064  
愛知県豊川市桜ヶ丘町79-2  
Tel. (0533) 85-3775

### 交通案内

電車 ●JR飯田線「豊川」駅・名鉄豊川線「豊川稲荷」駅下車徒歩約15分  
車 ●東名高速道路「豊川IC」から約10分(無料駐車場約100台/公園と共有)  
※土日は混雑が予想されるため、公共交通機関の利用や乗合せにご協力ください。



青山龍志《ばら》1969年



高木勲《予感》1975年